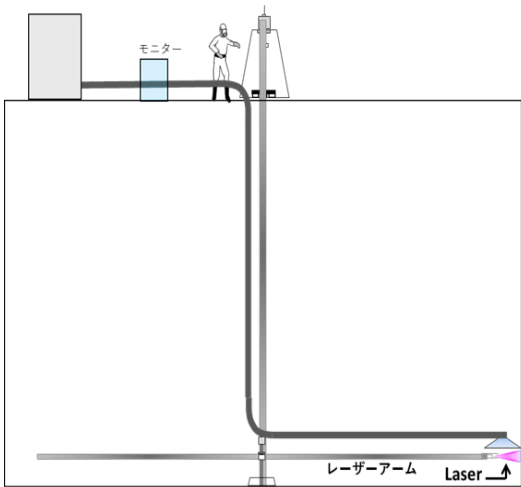
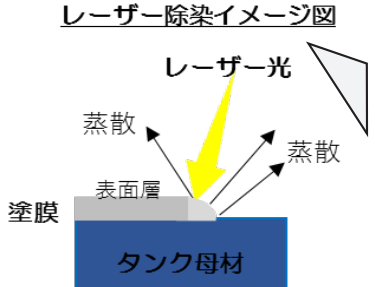


場 所		分 類		被ばく低減対策好事例集	
原子炉建屋内	RB	R 4	1 時間		
タービン建屋内	TB		2 距離		
R ZONE	(R)		3 遮へい		
Y ZONE	Y		④ 線源の除去		
G ZONE	G		5 遠隔、ロボット化		
その他 ()	Z		6 汚染拡大防止		
			7 その他		
内 容		フランジ型タンク解体作業におけるレーザー除染			
作業場所		1F構内 タンクヤード			
概 略		フランジ型タンクを解体にあたりβ線被ばくを低減するため、レーザー除染を行っている。			
評価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	--	▲46/基(β線)	
		人工数(人日)	--	--	
事例詳細					
対策前 フランジタンク内は高エネルギーβ線放出核種で汚染しており、解体に際してβ線被ばくが問題となっていた。 対策内容 タンク表面に付着したβ線からの被ばくを低減するため、レーザー除染を行うとともにフェースガードを着用し、水晶体の被ばく低減を行った。					
 排気系 		 レーザー除染イメージ図  レーザー照射により表面層（塗膜）および母材を蒸散 フェースガードによるβ線遮へい強化  アクリル3mm βγ5.0→1.0mSv/h(実測) ↓  アクリル10mm βγ1.0→0を目指す			
タンク内における放射線の影響（イメージ図） → 底板からの放射線 → 側板からの放射線 レーザー除染後は側板→（緑色）からの放射線の影響は大幅に小さくなる。					